

有縁の皆さんでお読み下さい

主を讃え 仏に慕れて 神で明け こんな虚しい年末年始にならぬように

# お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行  
お寺のかわら版  
じゅんしょうじほう  
純正寺報

# 青色青光 No.332



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）  
〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829  
メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

◎ 十二月三十一日（日・大晦日）

除夜会（年越しの集い）  
午後六時から七時まで

『阿弥陀経』のお勤めと住職法話、「甘酒」の振る舞い

◎ 一月一日（月・元日）

元旦会（歳始めの集い）  
午前十時から十一時まで

『正信偈』のお勤めと住職法話、「祝い酒」の振る舞い

◎ 一月十六日（火）

御正忌（親鸞様の祥月命日）  
午前十時から午後一時まで

『正信偈』のお勤めと住職法話、お斎の振る舞い

◎ 一月二十五日（木）

こんき常例布教  
午前十時から午後三時まで

『正信偈』のお勤めと住職法話

YouTube 純正寺チャンネル

LINE 純正寺公式アカウント

純正寺公式ホームページ

facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。

# 住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

## 全てがコロナの責任ではない

〜新しい歳を迎えるにあたり〜

### コロナが収束するも

コロナ感染症が二類相当から五類に移行されて半年が経過しました。その結果、コロナに関する話題がメディアから発信されること、がとてもなくなくなり、マスクをつけている人も随分減りました。しかし、今もコロナウイルスに感染される人はおられますし、手洗い・うがいなどの感染対策も緩んできたからか、去年までほとんど感染者がいなかったインフルエンザが警報級の流行になっています。感染症に関しては、これからも不断の予防対策を心がけたいものですね。

それに対して、お寺の状況に関しては、コロナ警戒

が緩んできたにも関わらず、依然厳しい状態が続いています。

先日、集落にある寺院の兼業住職（会社などにお務めされている住職）さんのお話をお伺いしました。

コロナ感染症が流行した三年前から、それまで二日間、四座お勤めされていた報恩講が、一日のみの報恩講に短縮されるようになりました。当時は「三密」を避けなければならぬという感染対策が強化されましたから、報恩講の縮小は仕方がないことでした。

しかし、一応感染症の流行も収束した中での来年一月の報恩講も、ご門徒からの要望で引き続き一日の法要になりました。しかも、

昼の「お斎」ももうやめてほしい。そして、お斎がないのなら報恩講の懇志も減らしてほしいと、門徒代表の方から要望があったというのです。

### コロナのせいではない

この状況は、コロナ感染症の影響などという一過性のものではなく、寺院の存続にも関わる根幹的な問題が表面化しているのではないかと、そのご住職のお話を聞いていて私は思いました。その根幹的な問題とは、お寺と人が何故関わっているかという理由を、多くの人が見失いつつあるのではということ。あなたは何を理由にお寺と関わりを待っているのですか？

コロナ渦以降、お寺との関わりを止める動きが急速

に進んでいるように思いますが。例えば、これまでお寺との関わりがあるにもかかわらず、お葬式をしないという人。ご法事を勤めない人、月参りをお断りになる人。それは、コロナ渦以前からそうしたいと思っておられた人たちが、コロナ渦を都合の良い理由にして行動に移されたのかもしれない。

なぜそうなるのでしょうか。それは、そうされる方がこれまでお寺と関わってこられた理由が、浄土真宗の信仰に基づくものではなかったからだと考えられます。すなわち、自分には特に浄土真宗の信仰はないけれど、先祖代々のつながりで仕方なくお寺と関わりを持たされているということ。であるならば、その人にとってお寺との関わり

は煩わしく、負担にしか感じないでしょう。

### 僧侶の生き方を問う

では、なぜそのように感じられるようになるのかというと、お寺に参って教えを聞かないからです。お葬儀やご法事、月参りの時にも、教えを自分自身の生き方に関わる大切なこととして聞こうとしないからです。

そういう人たちは、お葬儀やご法事や月参りは、死者のためご先祖のために勤めるものだと思っておられます。ですから、生きていく自分には無関係だと思われるのです。生きていく自分には無関係だと思えば、お寺との関係も無意味だと感じるのは当たり前です。

しかし、そのように思わせてしまった大きな理由は、お寺の側にあると思います。私たち僧侶・住職が、自ら浄土真宗の教えにひたむきに生きることなく、ただ先祖から相続した教えを形だけ言葉に乗せているのでは、教えに生きるなど伝わるはずがありません。「言っていることと、していることが違うじゃないか」と言われるようなことを僧侶が住職がしている、このような状況になるのは致し方ないのです。もし、お寺が危機的状況にあるというのなら、それは私たち住職・僧侶の自業自得です。

### 決意新たに

私は純正寺の住職になって三十三年間、阿弥陀仏のさとの世界であるお浄土をこの命の確かな行方といただき、

そのお浄土からのはたらきである南無阿弥陀仏と共に生きる念仏者でありたいと思いききてきたつもりです。でも、もし今の私の生き様でなお伝わらないのならば、それは私にまだまだ念仏者として生きる力が足りないのではしよう。

年齢を重ねると共に、身体もだんだん傷んできましたが、新しい年も命ある限りお念仏と共に浄土に向

かつて精進し、ご法要、ご法事、月参り、お葬儀の際には生きていく人たちに浄土真宗の教えに生きることの素晴らしさをお伝えすることに努めます。どうぞ、皆様が新しい一年を、月参りやご法事やお葬儀、またお寺での法要や法座などの仏事を通じて、浄土真宗の教えを聞き開いて、お念仏と共に心豊かに過ごされま

### 2024(令和6)年にご法事をお迎えになる方

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 一周忌   | 2023年(令和5年)にご往生の方  |
| 三回忌   | 2022年(令和4年)にご往生の方  |
| 七回忌   | 2018年(平成30年)にご往生の方 |
| 十三回忌  | 2012年(平成24年)にご往生の方 |
| 十七回忌  | 2008年(平成20年)にご往生の方 |
| 二十三回忌 | 2002年(平成14年)にご往生の方 |
| 二十七回忌 | 1998年(平成10年)にご往生の方 |
| 三十三回忌 | 1992年(平成4年)にご往生の方  |
| 三十七回忌 | 1988年(昭和63年)にご往生の方 |
| 四十三回忌 | 1982年(昭和57年)にご往生の方 |
| 四十七回忌 | 1978年(昭和53年)にご往生の方 |
| 五十回忌  | 1975年(昭和50年)にご往生の方 |
| 百回忌   | 1925年(大正14年)にご往生の方 |



# 純正寺1月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、六〇三、九三六個

今年最後の一ヶ月にも、二五八〇個のエコキャップが集まりました。小さなことからコツコツと、大悲のお心は広がります。

## 一年の計は・・・元旦会

1日(月・祝) 10:00~11:00

年齢性別は問いません

扇の要は一つです。二つあっても扇は開きません。新年最初のお参りで、人生の扇を強く柔らかく開けるための要を共に。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

7日(日)・14日(日)

15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

9日(火)・23日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くても柔らかい身体と心を作りましょう。

## みんなの食堂ビハーラ

11日(木)・25日(木)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前に、お申し込みを。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

13日(土)・27日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

14日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## 宗祖の祥月命日「御正忌法要」

16日(火)

10:00~13:00

年齢・性別は問いません

親鸞聖人祥月命日のご縁。『正信偈』のおつとめの後は、住職の法話です。法要の後は、「遺徳煮」のお齋をご一緒します。

## 「月例法話座談会」

19日(金)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## 彦根組後援「てられんけん」

21日(日)

14:00~17:00

年齢・性別は問いません

門徒推進員養成の連続研修会。第9回目は、和讃の唱読法と親鸞聖人の教えです。

謹んでお念仏申し上げます

十一月二十三日  
法名 称念院 释大行  
俗名 北河博さん  
九十四歳

十一月二十一日  
法名 释 薰心  
俗名 山内 元子さん  
九十五歳

ご往生

## みんな法友こんき常例布教

25日(木)

10:00~12:00.13:30~15:00

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、純正寺住職の釋覚恵です。

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。